研究分野	授業科目名	科目責任者
生理系分野	神経病態生理学Ⅱ特論Ⅱ	八木田 佳樹

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1,2	選択	2	

目的

脳卒中の病態や脳循環代謝の基礎を理解するために，当該分野の未解決課題（以下（１）～（５））について取り組む。
（１）脳血管内皮機能障害の分子機序
（２）脳虚血再灌流障害の有効な治療法
（３）rt-PA の副作用軽減法の開発
（４）脳卒中急性期の最適な血圧管理
（５）原因不明脳梗塞のマネージメント

授業到達目標

（1）課題に関連した文献を検索し，内容についてのレジメを作成できる。
（2）他の研究メンバーに解説，質疑応答を行うことができる。
（3）他のメンバーの解説に対して質疑を行うことができる。

授業計画

回数	月日	曜日	時間	担当者	区分 1	区分 2	授業内容
1	毎週	火	12:00-13:00	八木田 佳樹	講義	[抄読会]	抄読会，リサーチミーティングで課題についての発表討論を行う。 [場所:本館棟７階脳卒中医学実験室]

評価方法

（１） １年間※で 30 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（２） １年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
ただし，特論Ⅰ・Ⅲで紹介したものとは異なる論文 （症例）であること。
※２月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。

課題（レポート等）に対するフィードバック

発表時に，指導・助言を行う。

教科書

ISBN-9784787826169，必携脳卒中ハンドブック（改訂第４版），高嶋修太郎・伊藤義彰（編集），診断と治療社，2024

参考書

ISBN-9784525248512，脳卒中病態学のススメ，下畑享良（編集），南山堂，2018

準備学習（予習・復習等）

関連分野の文献を読み，内容を簡潔に発表できるようにまとめておく。
発表後，指摘された点について復習する。
（2 時間程度）

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

卓越した研究成果をあげ，脳卒中学の深い学識を獲得する。

注意事項・メッセージ

毎回発表を行うか，最低１回以上質問・コメントを行うこと。